

平成 20 年 2 月

[配布先：全組合員]

市場情報

<各地区市場動向>

東 北

氷 点 下

1月に入り、朝夕には氷点下なる日が多くなり、肌寒い日が続いています。昨年、色々な業種で偽装問題が発生し、コンプライアンスの遵守が如何に大切かを考えさせられた年となりました。

今年も昨年の改正建築基準法により、まだまだ大きく影響が残ったままの年明けとなりました。政府も改善策を出していますので、いずれは通常ペースに戻るとは思いますが、一日も早く戻って欲しいものです。

また、サブプライムローン問題、原油価格の高騰、株価の下落等、先行き不透明な状況が続いていますが、何とか安定した操業が出来るような、市況になって欲しいものです。

(J F E 鋼材・湊和志)

東 海

ピンチとチャンス

昨年は、建機・産機向は高いレベルで推移していた様ですが、建材向はというと、6月以降「改正建築基準法」の影響から、かなり厳しい状況が続いた様

に思います。

弊社も毎年の流れから考えると、10～12月はかなり忙しいのですが、昨年に関しては、12月だけが忙しかったという状況でした。

今年に入っても、今ひとつといった状況で、小ロット短納期ばかりで大口物件は見えていません。

今年はというと、建材に関しては改正建築法の影響は今年の方が深刻になるのではないかという見方が多く、建産機・自動車関連の方も改正建築法の間接的影響を懸念して慎重な見方も多いような気がします。

何しろ今年は「与信リスクの増大」、「メーカーの大幅値上げ」、「コンプライアンス問題」等いろんな懸念材料がある様に思います。しかし、この様な時にこそ、何事も前向きに捉え、自分達が直面する現実をよく見つめ冷静にひとつひとつ、きちんと誠意をもって対処していく事が大切ではないかと思えます。

ピンチをチャンスに…!!

(日清鋼業・濱田鎮行)

市場委員会の次回開催予定

第136回市場委員会

3月7日(金) 正午～

於 大阪・ラマダホテル